

義を貫くために出陣！藩主自ら脱藩した「最後の大名」

まぶねじんやいし
真武根陣屋遺址



江戸幕府の譜代大名であった林家（請西藩）
の陣屋の址です。林家は1万石の大名で、代々
若年寄など幕府の要職を務める家柄でした。陣
屋は林播磨守忠旭によって嘉永3年（1850）に
造営され、慶応4年/明治元年（1868）戊辰戦争の
勃発に伴い新政府軍へ抵抗するために、藩主林
昌之助忠崇は不退転の決意により自ら陣屋を焼
き払って出陣したといわれています。現在でも当
時の土塁が残っています。

市指定文化財：記念物（史跡）

指定年月日：昭和41年4月22日

所在地：木更津市請西 1139-33

所有者：木更津市

員数：39㎡

公開・非公開の別：公開
